

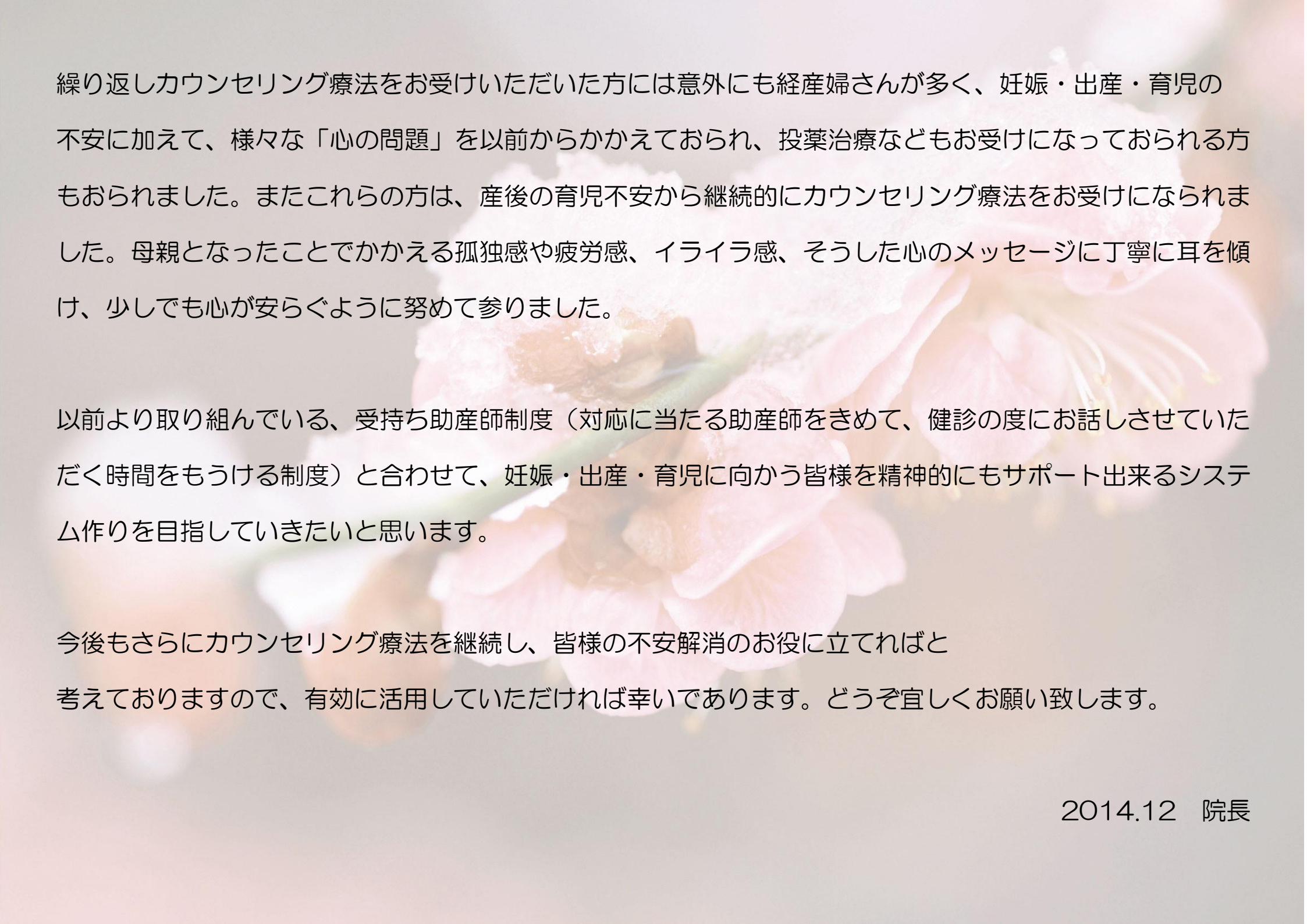
心理カウンセリング療法について

2014.1 月より診療をお受けいただいた患者様の中で、心理テストが高値の方や精神的に不安をかかえておられる方を対象に、専門の臨床心理士の先生によるカウンセリング療法を開始致しました。この結果をまとめてご報告させていただきます。今後カウンセリング療法をお受けいただく皆様の参考になれば幸いです。

総数 26 名の方にカウンセリング療法をお受けいただきました。内訳は、妊娠中の方が 20 名（初産婦さん 15 名、経産婦さん 5 名）、産後の方が 6 名（初産婦さん 3 名、経産婦さん 3 名）でした。患者様の中には、以前より精神的不安を自覚され心療内科などで治療を受けておられる方も 4 名おられました。

受診回数は、1 回のみが最も多く 22 名、2 回が 2 名、5 回以上の方が 2 名おられました。

妊娠中の受診の方には初産婦さんが多く、初めて妊娠・出産・育児を迎えて不安をお持ちなのも当然のことと思われます。その不安な気持ちを話し、心を整理することにより安心して出産や育児に向かうことが出来るようお手伝いさせていただきました。



繰り返しカウンセリング療法をお受けいただいた方には意外にも経産婦さんが多く、妊娠・出産・育児の不安に加えて、様々な「心の問題」を以前からかかえておられ、投薬治療などもお受けになっておられる方もおられました。またこれらの方は、産後の育児不安から継続的にカウンセリング療法をお受けになられました。母親となったことにかかえる孤独感や疲労感、イライラ感、そうした心のメッセージに丁寧に耳を傾け、少しでも心が安らぐように努めて参りました。

以前より取り組んでいる、受持ち助産師制度（対応に当たる助産師をきめて、健診の度にお話しさせていただく時間をもうける制度）と合わせて、妊娠・出産・育児に向かう皆様を精神的にもサポート出来るシステム作りを目指していきたいと思えます。

今後もさらにカウンセリング療法を継続し、皆様の不安解消のお役に立てればと考えておりますので、有効に活用していただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

2014.12 院長